

☆☆☆ Library Eye 2020 ☆☆☆

第2号 2020.4.9(土)

発行元 明星中学校・高等学校 図書館



【今で読書しよう！】

1962年10月、後に内閣総理大臣を務めることになる佐藤栄作がケネディ大統領と会談を行ったとき、アメリカ側が当初予定していた時間は、わずか10分でした。

ところが、この会談の席上で、佐藤栄作が「戦勝、以喪礼処之」(戦いに勝てては、喪礼を以て之に処る)という、中国の古典『老子』に出てくる言葉を語った瞬間、急にケネディの態度が改まり、会談は3時間にも及びました。

この言葉は「戦争に勝ったなら、これを喜ぶよりは、むしろ葬儀に臨む人のように、悲しみをもって身を処すべきだ」という意味です。

読書家のケネディは、この二千年以上も前に著された古典文学に精通していたからこそ、佐藤栄作が口にしたタイムリーな言葉に深い感銘を受けたのでしょう。

この会談が後の沖縄返還の布石となったことを思えば、教養が国の歴史を変えた、とも言えます。

ケネディ大統領が卒業したハーバード大学は、4年間で読む本の冊数が約1000冊と、読書量が桁外れです。

1コマ2時間の授業でテキストが200ページ分も進み、その内容についてのレポートを書き、プレゼンテーションの準備をするのですから、どうしても1日の大半を図書館で過ごすことになります。ケネディも大学時代には図書館に籠もり、一心不乱に読書に励んだことでしょう。

ハーバード大学の図書館の壁には「20箇条の教訓」が書かれているという噂があります。その中に「今、居眠りすれば、あなたは夢を見る。今、勉強すれば、あなたは夢がかなう」と、いう教訓があります。現在、登校禁止期間が延長され、すでに3ヶ月近くお子様はステイホームしています。外遊びや部活動などの Social Life が自粛されている今こそ読書に励み、《知》の体幹を鍛えてはどうでしょうか？



【《知》のネットワークを築こう！】

お茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦氏は、留学時代、アメリカの知識人から「『こころ』の先生の自殺と三島由紀夫の自決との間には、どのような関連性があるのか」と尋ねられて困窮した、と語っています。従来、日本では腑分けされた肉のような断片的知識を丸暗記することが高い評価を得てきましたが、欧米では覚えた知識を総動員して説明することに価値が置かれてきました。コロナウイルスに象徴される予測不能な21世紀の諸問題を解決するためには、個々の専門領域や国境を越えた《知》のネットワークを形成することが求められます。

もちろん、文理を問わず、教科で学ぶ知識・解法を疎かにしてはなりません、それらを活かすためには、読書によって「文脈」を築くことが必要不可欠です。

例えば、『トイレは世界を救う』という本の題名や「バナナを通して世界を見る」という記事のタイトルですが、「トイレ」と「世界」、「バナナ」と「世界」の間に、どのような文脈を見いだせるか、ということです。

そして、こうした学力を身につけるには、10代の時に、多くのジャンルの本や新聞を読んで知識・情報をインプットしておくことが最も有効と言えるでしょう。

読むチカラ以上に、書くチカラは絶対につかないのですから。



【SDGs展示コーナーの紹介】

SDGsって知ってる？ SDGsって何だろう？ SDGsを考えよう！

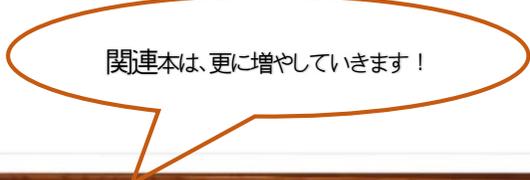
最近、「SDGs」という言葉を、様々な場所で耳にする機会が多くなってきました。日本でも、自治体・企業・学校など多くの団体が、「SDGs」に取り組んでいます。

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月のサミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより)

今年度より、明星中学校・高等学校は「ユネスコスクール」に加盟しました。「ユネスコスクール」とは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。

明星中学校・高等学校は、【 MEISEI SDGs VISION 】**地域と世界を明星がつなぐ** をコンセプトに掲げ、持続可能な開発目標(SDGs)を推進する取り組みを進めていきます。

図書館でも、「SDGs」コーナーを設置しています。まずは、「SDGs」を知ることから始めて欲しいと考え、17のゴールごとに関連した本を、手に取りやすいように展示しています。「SDGs」を知ること、今の自分ができることから取り組み、ひとりひとりの行動が、世界で困窮している人々を救うことを可能にすることを意識してください。ひとりでも多くの皆さんに、興味・関心を持って欲しいと思います。



【SDGs 展示コーナー】



入り口右側に展示しています。まずは1冊、興味のあるゴールの本から手に取ってみましょう！